



## 全国学力・学習状況調査からみる本校 3 学年生徒の傾向と改善の方向について

本年 4 月 21 日に 3 学年を対象に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受けて、本校の傾向と改善の方向についてお知らせします。

この調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の結果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ことにあります。公表にあたっては、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえ」た上で、調査結果の分析に基づいた本校の傾向を示し、日々の教育活動や今後の具体的な取組について検討して改善に役立てたいと考えています。

### 1 【国語】

◇正答数の分布状況は、全国とほぼ同様の傾向を示しています。

◆「話すこと・聞くこと」に課題が見られました。

#### (1) 【国語 A】について 主として知識にかかわる問題

◇漢字の読み書きの問題では高い正答率になっています。(ビョウソク 5メートル; 89%、新聞に載る; 96%) 漢字の宿題(白文帳)と授業でのドリルを関連付けて、学習させている効果が出ていると考えます。

◆必要に応じて質問しながら聞き取ったり、聞き手を意識して、分かりやすく話したりすることに課題が見られました。話し合い活動・学び合い活動を授業の中に位置づけ、聞(聴)くことや伝えることを意識させた活動を実施していきます。

#### (2) 【国語 B】について 主として活用にかかわる問題

◇自分の考えを持つことはできています。(無答率がおおむね低くなっています。)

◆自分の考えをまとめることが苦手である傾向にあります。グループで発表し合う活動を全教科で大切にしていきたいと考えます。

◆複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書く問題の正答率(18%)が低くなっています。この問題の正答率は全国的に低くなっています。たくさんある情報の中から必要な情報を選ぶのは、これからの社会を生きていく上でも大切な力となります。自分たちで調べる課題を決め、図書館やインターネット、人へのインタビュー等で情報を集める学習を行ったり、集めた情報を整理したりする学習を実施していきたいと思います。

### 2 【数学】

◇正答数の分布状況は、全国とほぼ同様の傾向を示しています。

◆領域別では数学 A、B ともに「図形」「資料の活用」の学習内容の定着に課題がみられました。

◆選択式問題の正答数の割合が低くなっています。

#### (1) 【数学 A】について 主として知識にかかわる問題

◇「数と式」の学習では、等しい比の値を選ぶ問題(91%)、簡単な文字式の計算する問題(83%)は概ね良好な結果でした。

◆「図形」では、図形を平行移動した図形を作図したり、直角三角形を回転させてできる図形の形を理解したりする問題に課題が見られました。図形の分野では、具体物を使って確認する場面を授業の中に取り入れていきたいと考えています。

◆「資料の活用」では、与えられた資料を読み取り中央値を求める問題に課題が見られました。資料を読み取り、必要な情報を判断する力は大切な力です。【国語 B】でも述べましたが、様々な学習

の中で、調べ学習を取り入れていきたいと考えています。

## (2)【数学B】について 主として活用にかかわる問題

- ◇◆「数と式」では、連続する3つの整数が3の倍数になるかどうかを確かめる式を書く問題では、82%の正答率となりました。しかし、説明を完成させる問題では35%の正答率となりました。単元のまとめに、既習内容を利用して解く問題などを丁寧に扱っていききたいと思います。
- ◆「図形」では、平行四辺形になるように点の位置を決める方法を、平行四辺形になるために条件を用いて説明する問題では正答率17%、無答率55%でした。全国的にも無答率の高い問題でしたが、半数以上の生徒が証明問題に手を付けられませんでした。形式を整えて証明を書くことができるように、書いた証明について生徒が互いに見直したり評価したりして、書き方を工夫する活動を丁寧に扱いたいと思います。

## 3【理科】

- ◇正答数の分布状況は、全国とほぼ同様の傾向を示しています。
- ◇自然事象についての知識・理解の定着が見られます。
- ◆観察・実験の技能については、やや課題が見られます。実際に実験や観察を行う場面で、繰り返し確認を行っていききたいと思います。

## 4【生徒質問紙からの傾向】について

- ◇「学校の規則を守る」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人に役に立つ人間になりたい」について、肯定的に答えている生徒がいずれも90%を超えており、規範意識が高くよりよく成長しようという気持ちを持っています。
- ◇◆「朝食を毎日食べる」(96%)「毎日、同じくらいの時刻に起きる」(94%)と基本的な生活ができています。しかし、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」(84%)でした。やや割合が低くなっており、基本的な生活習慣が、学力を付けていくのに不可欠です。引き続き、ご協力をお願いいたします。
- ◇◆「家で、学校の宿題をしている」生徒は83%となっているものの、復習や予習に取り組んでいる生徒は少ない状況です。復習をしている生徒は39%、予習をしている生徒は16%でした。宿題の中心が提出ノートとなっていると思われますので、今以上に授業と関連付いた家庭学習となるようにしたいと思います。
- ◆普段の授業で「グループでの課題学習」(58%)や「話し合う活動」(65%)がどの程度行われているかの質問の肯定的な回答があまり高くありません。グループ活動や話し合い活動は、生徒の思考力・判断力・表現力を高める上で欠かすことのできない活動です。今後は、これらの活動を授業の中にきちんと位置づけていきたいと思います。
- ◆学校の授業以外の読書時間が平日で10分より少ない生徒が56%にもなります。読む力はすべての学力の基本となります。学校では毎日、10分間の朝読書を行っています。集中して読書に取り組むように、学校全体で取り組んでいきたいと思います。ご家庭でも、是非一緒に本に向き合う時間を作っていただければと思います。
- ◆「家の人は授業参観などの学校の行事に来ますか」との質問に、「よく来る」20%、「時々来る」44%との回答でした。子どもたちの育ちのためにも是非、学校に足を運んでいただけるとありがたいと思います。

本校の生徒は規範意識が向上してきています。さらに、主体的に学習する面を伸ばすために、「学習の手引き」(年度当初に配布)の更なる活用や授業と関連した課題提示などによって、家庭学習の内容を指導するとともに、さらにグループ活動を取り入れるなどして改善していききたいと思います。一人ひとりの生活や学習の仕方を見直して改善していくことが、学力の向上とともに健やかな成長につながっていきます。一層学校とご家庭との連携を取り合っていきたいと思います。

以上のように、この調査から見える成果や課題をしっかりと受け止め、指導・支援の充実を図り、確かな学力の向上に努めてまいります。また、ご家庭においても、生活習慣や学習環境、家庭学習のあり方等についての更なる改善に向けて、ご理解とご協力をお願いいたします。